

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議の名称 | 平成26年度第1回富士見市社会教育委員会会議 |
| 開催日時 | 平成26年4月5日（土）午前9時30分～12時00分 |
| 開催場所 | 教育委員会 2階 会議室 |
| 出席者 | 高野昂子委員、西山ひろみ委員、田尻 円委員、 長ヶ原美博委員、武田秀規委員 本間雄一委員、 小森和雄委員 事務局（生涯学習課長、主査） |
| 欠席者 | 千葉純平委員 児玉亮一委員 岩村沢也委員 |
| 公開・非公開 | 公開（傍聴人 0人） |
| 会議次第 | <p>1. 協議事項 (1) 保護者の学びや育ちを応援する学習機会の充実施策について (2) その他</p> <p>2. 報告及び連絡事項 (1) 平成26年度入間地区社会教育協議会第1回社会教育委員部会（4月23日（水）午後2時～） (2) 平成26年度入間地区社会教育協議会理事会・総会（5月12日（月）午後2時～理事会 午後3時～総会 川越地方庁舎大会議室） (3) その他 ①地域や所属団体などについての情報交換 ②その他</p> <p>3. その他 (1) その他</p> <p style="text-align: center;">*次回会議日程 日時：平成26年5月13日（火）午後6時00分～を予定 会場：教育委員会会議室</p> |
| 会議資料 | ① 公民館だより（4月号） ②家庭教育支援事業（案） ③ 会議録 ④さわらび ⑤中学生の主張大会作文集 ⑥難 波田城だより 他 |
| 会議録確認 | 武田秀規委員 |

会 議 内 容 (要点記録)

- 議長あいさつ
- 人事異動などについて
 - ・友光新課長からあいさつと生涯学習課の人事異動を紹介
- 会議資料について
 - 事務局から、配布物確認と主な内容の説明を行う。
- 報告及び協議事項

1. 協議事項

【進行議長】

(1) 保護者の学びや育ちを応援する学習機会の充実施策について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

- ① 学習の機会ということで、これまでの取り組みでの課題から出していただく。
- ② 参加しやすい形は？

小中学校の親御さんの学ぶ機会の具体的な計画を、皆さんから提案して頂く。1年間検討して、27年度の計画に載せていきたい。

【進行議長】

27年度に事業化・予算化していくためには、この6月までに一つの案を出せばいい。もう一つは来年5月(任期)までに、中長期的な視点を含めた行政に対する建議作成という2段階の提案をしていく。

小学校入学前の施策というのは公民館等で、子育てサロンなど充実したものがある程度できている。就学児以降であれば、学校を活用することが良い。先生任せでなくPTAにも協力いただくことが必要。地域力であれば、公民館の協力も必要。全市的というよりは学校区単位で考えたほうが良い。

事業概要は、講座の取り組み、コミュニケーションスペースの提供の2つがある。誰がでは、家庭教育アドバイザー(県の資格)、教育相談室の方々に活躍いただく。以上が、事前のお話の内容ですが、皆さんのご意見ををお願いします。

【事務局】

現在、市P連に14万円委託して事業を行ってるが、連Pというよりも、単Pで親の学習の事業を行ったらどうかという案が出されました。

【委員】

単Pにすると大した金額にならないですね。以前から気になっていることは、学校運営支援者協議会の話があり、地域子ども教室や学校応援団などいろんな組織がバラバラにある中で、地域が担うのは厳しいので、いらぬものは撤廃し、一つの箱の中でやって行くことが必要。

【事務局】

「実施計画」のために事業を作るのではなく、本当に必要なもので、今後もやっ

て行けるものを考えていかないと長続しないし、意味がないと感じる。

【進行議長】

南畑小学校では、子ども教室・学校応援団の人を学校運営支援者にし、会議はそれで包括している。今まであるものをうまく動かして、利用している。

前回の木津先生のお話の「新入学時の講座」を拡大する、中学校入学時あるいは6年生卒業時の説明会で「中学校入学前の講座」、その間の低学年・中学年・高学年の思春期・仲間意識の芽生えなどの「節目の時期の講座」。

実施時間等は、学校の参観日とか保護者が集まる時。

ここにPTAが絡んでれば、PTAも達成感がある。前回のお話の中で、感じた事。

【委員】

学校での授業参観の時に親は居るが、クラス懇談会の時はいつもの顔ぶれしか居ない。子どもの様子を見て帰る。廊下で親同士話をして、授業を見ていない。お母さんから学習していく必要があると何時も思う。保護者会の先生も本音のところで話していない。子どものトラブルも当事者間で済ませてしまい、関わっていない親には情報が届かない。学校で講座をやるにしても、来れない保護者のために何ができるか。時間、場所を考えていく必要があると思う。

【進行議長】

先生が本音で話してくれないということは、先生は懇談会では議長役で、話せないと思う。先生も聞く側になればいいと思う。

来ない人をどうするかは何年もの課題。来る人と来ない人を、分けて考える。

ホームページの情報の子育て支援を、教育委員会・学校教育課・生涯学習課で1つ纏まったページがあればと思う。

【委員】

結局、PTAしかないが、PTAの事業は、昨年を引き継ぐのが精いっぱい、変えていくのは難しい。14万円の使い道も、昨年の事業をそのまま、趣旨が明確に伝わっていない。市や生涯学習課から提案があれば、会長も改革がやり易い。14万円の使い方を明確に規定すると、PTAも学校もやり易いと思う。

来ない保護者のことは何年もの課題になっているし、その裏には、どうしても経済格差があるので、どうしようもないところがある。

【進行議長】

学校・PTAという話が出てきた。小学校・中学校の子どものいる親へ向けた取り組みで、学校とPTAと社会教育委員が後押しする。もう一つ、PTAが直接動くのか、誰か講師を依頼するのか、集う場を作る動きは、アドバイザー的な人が必要になる。

何をというところで、少しお話を伺いたい。

【委員】

親が不安に感じているときに手を貸せたら良いと思う。小学校に上がったら、小学校って？幼稚園とどう違うのかと不安で、中学校に上がる時も何があるんだらと

不安に思っている親は多い。小学校3～4年生は「ギャングエイジって何、どんなになるの」という不安。親って不安です。その時に手を差し伸べる講座「こどもの変化と親の心構え」など、親の心構えも同時に講座として出来ればいい。不安に思っているその時期にやるのがいいと思う。

私自身が「ギャングエイジって何」で思ったので、2年生の終わりに「3年生って大事な時期なんだよ」という話、中学生2年生は「思春期まっただ中を迎えるのにあたって」的なものがあればいいと思う。

【事務局】

公民館に幼児親子が「プレイルームありますか」って来ていた。やはり不安とかの気持ちだったのでしょか。

【委員】

同じ年頃のお子さんや親に触れ合いたい、話をしたい、子どもの為、自分の為。東公民館も子育てサロンが月1回あるが、毎週やるとアンケートに出てきます。親は集まる場所が欲しいと思っている。

【進行議長】

乳幼児期は不安感を共有できるから徒党を組める。就学時以降も共有できればグループが出来て、活動出来ればいい。きっかけを作ることが一つ。

【委員】

ある雑誌で「砂場デビュー」で繋がった親が、繋がりが強くなるらしい。

小学校に入って働き始めても仲間の一人が学校に行って「こういう話を聞きました」という伝達能力をつける必要がある。来ない人はいいと学校は割り切れない。職員にも伝達能力をつけていく。

保護者からは年間の行事は動かさないで欲しいという要望が強い。仕事のシフトが組まれていて、変更すると明日から来なくていいとなる。核家族、母子家庭、父子家庭が急激に増えている。保護者会に必ず来られる時代じゃない。来た人がコミュニケーション能力を付けて、来られない人、砂場時代に培った友達に話をしていく。

砂場時代、小学校入学前、小学校真ん中位、高学年、中学入学前、中学真ん中、高校入学と節目がある。この中で小学校高学年から中学校に入る頃、現在、スマホは大変な時代です。

集めるのではなく、集まる場所で話す場を見つけて計画することが大事。

【委員】

学校単位で浸透させるには、校長先生の学校現場でのマネジメントが必要になる。講座だけでなく楽しいイベントも加えて発展させていく。PTAに先生方から企画してほしい内容を率直に言ってほしいと思うことがある。

【委員】

ある小学校で、子どもと地域の人たちの遊ぶ場を作りたいと、おやじの会を立ち

上げ、紙飛行機・ブーメラン・焼き芋をやった。大変でも、人は集まる。催し物の中で、親同士が仲良くなるし、おじいちゃん・おばあちゃんに協力したい人が出てくる。学校の立場では、職員は計画性があると出る。協力したいと思っている。

【委員】

西中は立ち上げた方がいて、花壇の植え替えなどを何回かやったが、今はどうか。西中はPTAバザーをやっている。以前は、現役役員と卒業した親が1年くらいは手伝いにきていた。本部がお膳立てをしてやっていたが、本部役員のなり手がなくなってしまい、バザー委員を作った。卒業した親でも何年も関わっていけるよう育てていくことが必要。卒業してしまうと関わらなくなるのは勿体ない。

【委員】

PTAは探り探りやっていて、前向きな会長は、バザーの売上金を被災地に送るチャリティバザーをやっている。やってよかったというものが生まれる。

家庭学習支援を考えると、社会教育委員が素案を出して、実働に関してはPTAでという方法、PTAにとっても存在意義を見直す機会になる。校長会の事務局は学校教育課、P連は生涯学習課、これがキーになってくる。そこを擦り合わせて、社会教育委員に繋げる。「誰に向けて、何時、何処で」は、PTAと学校の先生方が、現場のカラーを加えて実施していく。PTAにやってくださいと頼むことがいい。

【委員】

育成会のことが出ていないが、育成会活動も視野に入れる必要はないか。育成会から「勾玉作り」を依頼されたことがある。イベント化する時に、資料館にはイベント材料があるので、うまく使うと良い。富士見市は結構材料を持っているので、持っているものを使う。

小学3年は全員が難波田城に「昔の暮らし体験」とう勉強に来る。またやりたいと、小学校に出前する。ボランティアを活用することもある。

【委員】

私たちが実際に話を出来るという人がいるのか知らない。情報が入っていないので、先に進まない。私達もリサーチする必要があるし、PTAにお願いする時は、こういう人がこういう話をしてくれますとアピールしていくことが必要。

人を集めるのではなく、集まったところへ行くのが手早いと思う。就学時健診や入学説明会には必ず親が来る。5・6年生では林間学校や修学旅行の説明会に親は必ず来る。時間に制限があると思うが、「子どもたちの状況とか今大切なこと」を、足を運んで話すことが大切。ポイントで話すことで、来れない親にいい話聞いたと伝えてくれ、次は聞いてみようと、広がっていくと思った。

【委員】

人材バンクを通して、中学校で昔の話をしてと要望があり、市民学芸員が行った。グループに分かれて、その人の得意な話した。これと直結しないが、話せる人は居る。しゃべりたい人も結構いる。そういう人をリストアップして置き、うまく使うことだと思う。

【委員】

「地域子ども教室」にも関わってるが、人が集まらない。集客する力はPTAにはかなわない。地域子ども教室も人材バンクにお願いすることで、引出も多くなる。

その中で、PTAの力はあると思う。ふじみ野小はP連に入っていないが、家庭教育の支援と言うものに花があればのってくるのではないかな。

【事務局】

具体的にPTA、学校を利用するという案が出ました。前回の議事録に、ハード面で場所を作りたいということが出ていたが、ハード面を整えるのはハードルが高いと感じる。情報を知らないとの話もあった。今あるものをどう活用するかが必要と思う。

【委員】

社会教育委員があって、こういうことを企画しているということを、先ず伝えることは必要と思う。

【進行議長】

来年度の施策に反映させるということでもまとめるとすれば、

- ① 情報を集める。こういうことがある・出来るというようなもの
- ② ニーズの把握。PTAだったら負担無く、今までやってきたPTAのノウハウを使いながら新しいことが出来るにはどんな形があるのか。学校の先生も伝えたいことがあると思うので、そのニーズをどのように具体化するか。
- ③ 実施方法。学校に人が集まるときを利用してやるのか。

PTAにお願いするのですから、負担感を無くして行きたいと、出ていました。この辺を詰めていけばいいでしょうか。

【事務局】

準備をしっかりすることも大事なので、来年の6月でもいいと思っている。

委員は、親の学習が必要ということ、PTAが出来ることが分かっているが、行政の押し付けと取られてしまうと、反発しか招かないということになる。PTAの人たちが自ら動けるような環境を作っていくことも大事。

結果を急ぐより、ニーズの把握や趣旨をどうに伝えていくか、準備が必要と思う。

【委員】

誰がやるかで、PTAにと言いつたが、社会教育委員が主催することもありか。

【事務局】

社会教育委員は、教育委員会の諮問に対して答申を、あるいは建議を上げていくということで、何かを実施していく機関ではないです。

【委員】

PTAに、家庭教育支援という価値観がなかったなので、PTAに話した時に会長

たちがどう思うか、価値観を話す中で共有が必要かと思う。

【事務局】

提案する場合は、意義と同時に方法（こういう講師がいるので活用してくださいなど）も伝えることが必要。準備が必要になると思う。

【委員】

P連全体になると、集められる数が多くなってしまうので、学校ごとの単Pにと考えた場合、中学校に入るときは親のケアとしては良いと思う。

【進行議長】

事業案のところに「モデル事業」という言葉が出てきますが、モデル事業校を選んで、そこと詰める方が早いかも知れない。ニーズを把握し易い。

時間になりましたので、ここまでに出示されたものを事務局に纏めてもらいます。それに先立ち、ここで聞いておきたいことがあれば、いかがですか。

委員】

家庭教育アドバイザーの方を知る機会があれば教えてください。

【事務局】

調べて、報告と一緒に提供できるようにしたいと思います。

本日の話を纏めて、次回に続きを話したいと思います。必要であれば、議長・副議長に相談したいと思います。

【進行議長】

学校教育課なり校長会の先生なりのご意見を聞いておいてください。場合によっては会議に同席いただいてもと思います。

今日の協議は終了いたします。来年度、行政で動いてもらえるものに纏められればと思います。最終的には、来年の5月までに纏めます。委員の皆さんにはそこをにらんでいただければと思います。

では、報告及び連絡事項をお願いします。

【事務局】

2. 報告及び連絡事項

(1) 平成 26 年度入間地区社会教育協議会第 1 回社会教育部会

担当は昨年に引き続き、長ヶ原委員と小森委員にお願いする。

4 月 23 日（水）午後 2 時～の会議に出席いただく確認をする。

(2) 平成 26 年度入間地区社会教育協議会理事会・総会

職員の理事に坂本がなる旨、連絡。

会議の通知は、理事の長ヶ原さん・小森さんに連絡する。他の委員さんも参加希望があれば、お申し出を。

(3) その他

1) 地域や所属団体などについての情報交換

*小森委員：難波田城関係 「田んぼ今昔—耕地改良のあゆみ—」企画展。南畑地区の耕地整理の歩み、関連イベント実施。①講演会「田んぼ今昔、そして未来へ」②新作オリジナル紙芝居「作べえ堀」上演会。①②はDVDに収録した。③「田んぼ今昔」を歩こう 5月24日に市民学芸員が案内する。

富士見市の文化財の総合目録を作る活動。20人の委員で、1年間かけて作るが、今後、富士見市に残したいものを皆さんからも提案してください。

2)高野委員：刺繍展について 個人的なものですが、近代美術館でやっていますので、時間があったらどうぞ。

3)菜の花まつり

*次回の日程は、5月13日火曜日、午後6時00分からとする。

5 閉会

(閉会)